



高橋国土交通副大臣へ要望書を手渡す小長井市長、浅見会頭、海野副会頭

地域産業の基盤となる四つの整備事項について 富士市と共に富士商工会議所は国へ要望しました

富士市内の道路ネットワーク整備



富士市内の道路ネットワーク整備、富士市内の浸水対策等の事業推進、田子の浦港の港湾整備事業促進、富士市のまちづくり事業推進について、新たな要望事項を加え、小長井市長・浅見会頭の連名にて、国土交通省、財務省へ要望書を提出しました。

■富士市内の道路ネットワーク整備について

「国道139号西富士道路の新インターチェンジ設置」について、大規模災害時の緊急脱出路として有用になることや、設置予定地付近に集中している防災活動拠点や救護病院等への利便性が向上することを認識しているため、国、県、市が連携し、早期に完成できるように、必要な支援を要望します。

- 国道139号富士改良の事業推進
- 国道1号富士由比バイパス(富士立体)の早期全面着手
- 国道139号西富士道路新ICの早期実現
- 富士市の道路事業予算の確保

浅見会頭から

2024物流問題が懸念される中、人流・物流を支える強靱な道路ネットワークが、産業界の大きな支えとなり、交通インフラとしての道路の果たす役割は、極めて大きいと考えています。

富士市内の浸水対策等の事業推進



■富士市内の浸水対策等の事業推進(2022)(新)

富士市における浸水対策事業等の推進において、来年度より下水道の個別補助事業を活用した雨水排水ポンプ場の整備を、市内沖田地区にて進めたいと考えておりますので、円滑な事業実施に向けて国の手厚い財政支援を要望します。

- 大規模雨水処理施設整備事業(仮称) 沖田地区排水機場の整備事業の個別補助事業化
- 江尾江川及び小潤井川の改修に必要な予算の確保

○一級河川沼川流域の富士市における浸水被害の軽減を図るために必要な予算の確保及び、適切な技術支援や助言等を行うこと

- 浸水被害軽減のため、富士早川及び下堀における河川改修の整備に掛かる富士市の河川改修事業予算の確保
- 公共下水(雨水)の整備に必要な下水道事業予算の確保
- 公共下水道(汚水)の未普及地域解消に向けた管路整備の推進に必要な下水道事業予算の確保
- 持続可能な汚水処理システムを実現するために必要な下水道事業予算の確保

浅見会頭から

台風や豪雨災害等の激甚化・頻発化により、港口部や港内泊地の埋塞災害が常に懸念されております。航路機能の維持が地域産業の安定化に繋がっておりますので、港口部を中心とした港湾機能の確保に向けた取組を推進していただきたいと思っております。

海野副会頭から

富士市の進める浸水被害軽減対策は、市内の産業界が継続と発展を図っていくために不可欠です。特に、市内沖田地区で計画されております雨水排水ポンプ場の整備は、地区内の企業からの期待が非常に高い、念願の事業です。

■田子の浦港の港湾整備事業促進(2022)

田子の浦港は、静岡県東部の産業経済を支える物流拠点及び防災拠点として大きな役割を担うことから、最重要課題である航路機能の確保に向けた港口部の予防保全対策を要望します。

- 航路機能の確保に向けた高度な知見に基づく港口部の予防保全対策
- 豪雨災害等の激甚化・頻発化に伴う泊地埋没対策事業の対象範囲の拡充及び着実な支援
- 「みなとオアシス田子の浦」を核としたにぎわいづくり推進に向けた支援
- カーボンニュートラルポートの実現に向けた取組への支援

海野副会頭から

富士駅北口の再開発事業や東海道新幹線新富士駅南地区の区画整理事業が計画どおり推進されることは、そこで生活する方々がその計画に対応した人生設計を描くことができ、また、立地する企業は効率的な経営方針が立てやすくなります。

■富士市のまちづくり事業推進(2022)

「富士駅北口周辺再整備事業」について、富士市の玄関口として、機能的で魅力あふれる駅前空間を創出するため、組合施行による市街地再開発事業と、市施行による駅前公益施設整備事業の一体的整備に対し、集中的に支援いただきますようお願いいたします。

- 富士駅北口第一種市街地再開発事業(組合施行)及び駅前公益施設整備事業に対する支援
- 富士市の都市公園事業予算の確保
- 新富士駅南地区土地区画整理事業予算の確保
- 富士市の街路事業予算の確保

■要望書の提出スケジュール
令和6年7月31日 国土交通省 静岡国道事務所
同 9月13日 国土交通省 中部地方整備局
同 11月27日 国土交通省、財務省

2025年 景気予測 富士商工会議所 役員議員・商工振興委員アンケート

調査 結果

【調査時期】 2024年11月1日～11月29日

【調査対象】 富士商工会議所 役員議員・商工振興委員 合計223名

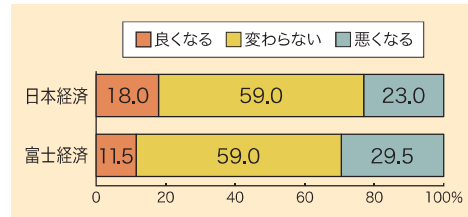
【調査方法】 FAX・ネットによる送返信

【回答者数】 158名(回答率)70.9%

◇ 2025年の景気見通し ～ 日本経済、富士経済ともに停滞感を強める ～

2025年の景気見通しは、日本経済全般については「現在よりも良くなる」との回答が18.0%(昨年27.7%)、「変わらない」が59.0%(昨年47.2%)、「現在よりも悪くなる」は23.0%(昨年25.1%)。

富士地域経済については「現在よりも良くなる」との回答は11.5%(昨年19.5%)、「変わらない」が59.0%(昨年57.9%)、「現在よりも悪くなる」は29.5%(昨年22.6%)。日本経済は停滞感を強め、富士経済は停滞、悪化が予想される結果となった。

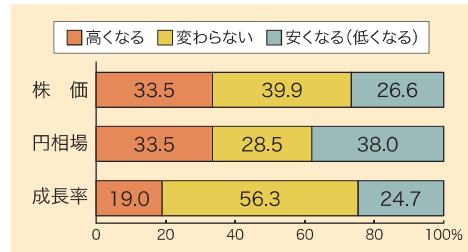


◇ 株価水準、円相場、経済成長率の見通し ～ 株価、円相場は見解が分かれ、経済成長率は変わらないと予想 ～

2025年の株価の水準(日経平均株価)は、「高くなる」が33.5%(昨年30.2%)、「変わらない」が39.9%(昨年42.1%)、「安くなる」が26.6%(昨年27.7%)となり、昨年に比べて高くなるとの予想が若干増加。

円相場(対米ドル)については、現在の円相場に対して、「高くなる」が33.5%(昨年30.2%)、「変わらない」が28.5%(昨年40.3%)、「安くなる」が38.0%(昨年29.5%)となり、見解が分かれた。

経済成長率については、「高くなる」が19.0%(昨年18.2%)、「変わらない」が56.3%(昨年56.6%)、「低くなる」が24.7%(昨年25.2%)となり、昨年に引き続き、成長の鈍化が継続される予想となった。



◇ 今後の企業経営に関する懸念材料 ～ 「原材料及び燃料価格の動向」「労働力不足・コストの増加」を懸念 ～

今後の企業経営に関する懸念材料について、12の項目から懸念度の大きい順に4つまで選択していただいた。

最も回答が多かったのは、「原材料及び燃料価格の動向」79.1%(昨年86.2%)。

続いて「労働力不足・コストの増加」73.4%(昨年66.7%)、「米国の政治経済」61.4%(昨年23.9%)、「少子高齢化」40.5%(昨年34.6%)、「中国の政治経済」35.4%(昨年39.0%)が続く。

「原材料及び燃料価格の動向」は昨年同様最も多く、原材料の高騰により企業は経費削減、価格転嫁交渉に苦慮している様子が窺える。また、「労働力不足・コストの増加」については、人材確保のための賃上げ実施や若者の市外流出・少子高齢化を危惧する意見が多く見受けられた。

また、2025年1月に発足するアメリカの新政権による影響を心配する声も大幅に増加した。

◇ わが国が積極的に取り組むべき課題 ～ 「少子・高齢化対策」重視 ～

現在、わが国が積極的に取り組むべき課題を15の項目から重要度の高い順に4つまで選択していただいた。

最も回答が多かったのは、「少子・高齢化対策」68.4%(昨年67.3%)。次いで「外交・安全保障」36.1%(昨年28.3%)、「防災・国土強靱化対応」35.4%(昨年18.2%)、「税制改革」34.8%(昨年28.3%)と「経済構造改革・規制緩和」32.3%(昨年40.3%)が続いた。

少子・高齢化問題はわが国の最重要課題と捉え、国の支援策を期待すると共に、雇用・労働環境整備と併せた労働力不足への対応が望まれる。

また、2024年1月に発生した能登半島地震の被災状況を鑑みて、防災意識の高まりが窺える結果となった。

◇ 富士商工会議所が優先的に取り組むべき課題 ～ 「行政への政策要望」を強く期待 ～

今後、商工会議所が優先的に取り組むべき課題を12の項目から重要度の大きい順に3つまで選択していただいた。

最も回答が多かったのは、「行政への政策要望」48.7%(昨年38.4%)となり、インフラ整備などに関する積極的な提言活動や行政との連携を期待する声が多かった。次いで「就職支援」43.0%(昨年34.0%)、「企業誘致・留置」41.8%(昨年50.9%)となった。「就職支援」に期待する声も年々増加しており、「企業誘致・留置」と併せ、人材確保に向けた取り組みを望む声が挙げられた。

『アンケートに御協力いただいた皆様方、大変ありがとうございました。』

キャリア教育 産学官連携事業

～富士化工(株)・マルスン(株)が参加～ 第5回 「キャリアカフェ」を開催

主催：富士商工会議所 吉原工業高校 後援：富士市

去る11月19日(火)、吉原工業高校において第5回キャリアカフェを開催しました。今回は富士化工(株)(合成樹脂パイプ、継手等の製造販売)とマルスン(株)(主に自動車金型製造)が参加し、OB・OGの話や聞こうと集まった生徒は総勢33名にもなり、終始和やかな雰囲気の中で行われました。

富士化工(株)の講話では、工場の勤務体系や同社が扱う製品について紹介すると、生徒からは交代勤務の具体的な働き方や製品の原料となるプラスチックの素材について質問が寄せられ、担当者がわかりやすく丁寧に答えています。

一方、マルスン(株)では、金型や3Dスキャナーを会場に用意し、実際に生徒に触れてもらいながら使用方法を説明しました。その後、金型の寿命や作られる製品の

精度について聞かれ、応答を任せられたOBの1人は、自身の経験を交えながら熱心に答えていました。

両社とも生徒からの質問が尽きず、終了時刻を過ぎて社員と話す姿が多く見られ、先輩が働く現場について強く興味を持った様子が見られました。

当所では、一人でも多くの生徒に地元で働くきっかけが生まれるよう引き続き支援をしていく予定です。



生徒からの質問に応えるOB



金型の仕組みを学ぶ

富士商工会議所建設業部会 富士宮商工会議所建設木材部会 合同部会で建設DXについて学ぶ

11月22日(金)に当所にて、富士商工会議所建設業部会と富士宮商工会議所建設木材部会の合同部会を開催し、部会員約25名が参加しました。

合同部会は、両商工会議所に所属する建設業の事業所が、災害時の対応やインフラ整備などについて研修、情報交換を目的に毎年開催しています。

今回の合同部会では、講師にクラフトバンク(株) 地域戦略統括室 法人事業部長の飯田拓矢氏を招き、「建設DX」2024年問題に対応する建設業のDX取組事例」と題し、ご講演いただきました。

建設業界は、若手人材の不足や技能者の高齢化による技術継承の難化、工期の遵守やコスト抑制など、多くの課題を抱えているなか、さらに昨年4月から建設業にも適用されることとなった働き方改革関連法により時間外労働の上限規制が課され、2024年問題といわれる厳しい業況となり、労働環境の改善や生産性向上が求められています。

講演では、まずこの問題に実際対応できている事業所の割合や若者の人手不足・高齢技能者の労災発生率を見ながら、建設業界の実情を

確認しました。そして、DXによる勤怠管理や原価管理、工程管理の簡素化やホームページの充実化・現場の見える化が、労働環境の改善や人材採用力を上げることに繋がると実例を交えながら説かれ、多くの参加者がメモを取りながら熱心に聞いていました。

今回の合同部会で、自社の生産性や若手人材の採用力、高齢技能者の安全な労働環境の整備などを見つめなおすとともに、DX導入について知識を深める機会となりました。



2024年問題への対応状況を知る会員

台湾の概要

台湾は与那国島から約111km西方に位置し、台湾本島と澎湖諸島などの島々から成り立っています。面積は3万6197km²、人口は約2342万人(2023年12月時点)で、西海岸に人口が集中しています。温暖で過ごしやすい気候であり、主要都市には台北、台中、高雄などがあります。また、新竹、台中、台南には科学工業園区(サイエンスパーク)が設置されています。

富士貿易協議会

海外経済視察《台湾》



日本台湾交流協会での意見交換

2024年11月24日(日)〜28日(木)の5日間、富士貿易協議会(会長:近藤洋平氏、副会長:近藤商店代表取締役)は台湾の高雄から台北までを縦断する海外経済視察を実施しました。近藤会長以下、13名の視察団は、台湾の経済クワスターの現状理解に加え、日本と台湾の深い繋がりを肌で感じたほか、現地に赴くことで、台湾の歴史・文化を目の当たりにしてきました。

高雄・半導体産業と都市再開発

台湾第2の都市「高雄」では、半導体産業の集積と都市開発が進行しています。訪問した(公財)日本台湾交流協会高雄事務所では、副所長の是枝憲一郎氏から高雄エリアの現況について伺いました。

高雄は石油化学産業や造船業などの重化学工業が戦後発展し、石油コンビナートや大型造船工場が集積する台湾最大の重工業都市です。2010年以降、総額300億元(約1380億円)を投じた再開発計画により、市内にはモダン建築が目を引く流行音楽センターや旅客ターミナル、ライトレールシステムなどが整備されました。

2023年には世界最大の半導体受託製造企業「TSMC」の工場立地に合わせ、約120億元が投じられ、IC設計インベション基地の形成が進んでいます。既存産業を基盤に、半導体産業の上流(IC設計、設備、材料)および下流(5G・AIoT・航空宇宙分野など)企業が進出し、サプライチェーンが完成しつつあります。

また、台湾では少子高齢化・労働力不足が進んでおり、半導体工場のオペレーターとしてフィリピンやベトナムなど東南アジアから外国人労働者を受け入れています。台南・高雄・屏東を合わせた約550万人の大商圏において、複数の大規模商業施設が建設中であり、今後の経済成長の余地が大いに感じられる都市でした。

烏山頭ダム・八田與一の功績

烏山頭ダムは、1920年から1930年にかけて建設されました。当時の台湾は日本の統治下にあり、八田與一はこの大規模な水利工事を指揮し、不毛の地が台湾最大の穀倉地帯へと変貌を遂げました。

ダム建設中の落盤事故では134名が犠牲となりましたが、八田の強い主張により、日本人と台湾人を区別せず、亡くなった



献花が絶えない八田與一の銅像

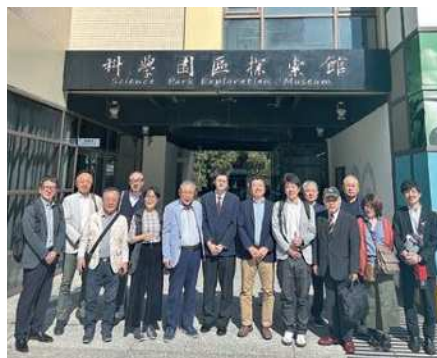
順に名前が刻まれた慰霊碑が建てられました。また、ダム完成翌年には八田の銅像が建てられましたが、蔣介石政権下での破壊を逃れるため倉庫に隠され、1981年に現在の場所に再設置されました。今もなお、銅像には献花が絶えず、台湾の人々の感謝と八田の功績が受け継がれています。日台の深い歴史的つながりを感じる事ができました。

新竹サイエンスパーク・台湾経済の生命線

新竹サイエンスパークは、オイルショックを契機に従来の労働集約型産業から知識集約型産業への転換を図る目的で、1980年に設立されました。パークはコンバクトシティとしての機能も有しており、大学や研究機関、飲食店、緑地などが整備されています。

新竹科学園區管理局では、人居企業の誘致を担う投資組の黄振軒(ホワン・ジェン・シュエン)氏から概要説明を受けました。現在、人居企業は約600社で、そのうち日系企業は13社、外国企業は80社です。2023年の売上高は3兆9439億元(約17兆74

75億円)で、台湾GDPの約15%を占めています。かつてはパソコン製品が中心でしたが、1995年以降は半導体産業が主力となり、TSMCなど世界的企業が躍進しています。特に、パーク内では半導体産業の全工程(上流から下流まで)が完結する体制が整えられているほか、企業誘致には厳しい基準がある反面、進出後の手厚い操業支援が整えられています。学術研究機関と民間企業の連携も活発で、産業振興の方向性に基づくコンソーシアムが形成されており、高い実行力とスピード感に深く感銘を受けました。



新竹サイエンスパークのスタッフとの集合写真

まとめ

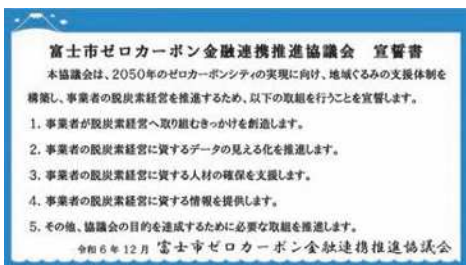
今回の視察を通じて、台湾の経済発展を支える科学技術や歴史的背景を深く学ぶことができました。特に、新竹サイエンスパークの先進的な取り組みは、今後の富士市における産業振興の参考となる貴重な体験となり、知見を深めることができました。

脱炭素経営支援を推進 ～推進主体として当所も参画～

富士市ゼロカーボン金融連携推進協議会を設立



設立総会出席者 集合写真



富士市ゼロカーボン金融連携推進協議会宣誓書

去る12月11日(水)、富士市消防防災庁舎において「富士市ゼロカーボン金融連携推進協議会」の設立総会が開催されました。

温室効果ガス削減への取り組みは、各事業所による直接的な排出を削減するだけでなく、サプライチェーン上で脱炭素を推進する動きが顕在化するなかで、金融機関では、二酸化炭素排出量の見える化や排出削減の取組紹介など脱炭素経営を働きかける支援を行っています。

本協議会は、脱炭素経営へのシフトチェンジを推進するため、行政と地域金融機関8行、及び富士

商工会議所、富士市商工会が連携し、まずは資金面において地域ぐるみの支援体制を構築することを目的に設立しました。

設立にあたり、小長井義正富士市長が協議会の取り組みを宣誓書に示したほか、当所からは富田宏朗副会頭が出席し「会員事業所が脱炭素社会の実現に向けて自主的かつ継続的な事業活動ができるよう支援していく」と述べられました。

その後、静岡大学水谷洋一教授が「脱炭素をめぐる地域行政と地域金融機関との連携・地域金融機関間の協調」をテーマに講演を行い、脱炭素化の実現には地域内の連携が重要であると伝えました。

今後は、中核企業やエネルギー事業者などに参画を求め、支援主体を拡充し、大勢整備を進めながら令和8年度中に「富士市ゼロカーボン化推進コンソーシアム(仮称)」へ改組拡充し、富士市の脱炭素化をさらに推し進めることを計画しています。

日常に潜む「もしも」に備えた充実のラインナップ

団体契約により低廉な保険料でご加入いただける、会員のための商工会議所保険制度

ビジネス総合保険制度

業務災害補償プラン

休業補償プラン

〈引受損害保険会社〉

あいおいニッセイ同和損害保険(株)	☎(050) 3461-0058
損害保険ジャパン(株)	☎52-9630
東京海上日動火災保険(株)	☎(055) 953-9130
三井住友海上火災保険(株)	☎(055) 916-2986

詳しくは引受損害保険会社パンフレットをご参照下さい。
富士商工会議所 振興課 ☎52-0995

〈まきの整体院〉

「諦めないでください！」その腰痛、シビレを根本改善します。

富士市で慢性腰痛専門の整体院を営んでいます。

腰痛改善実績多数。完全予約制で必ず院長が施術を担当します。

患者様と向き合い感動改善に繋がります。

ホームページ

AI姿勢分析カルテ Redcord導入！

静岡県富士市宇東川東町10-4 |

☎080-6928-3694

【定休日】 不定休

Instagram

富士地区合同企業ガイダンス2026参加企業募集

就職を希望する若者と地元の優良企業との出会いの場を提供するため、合同企業ガイダンスを開催いたします。

2026年春の採用計画がある企業様は、ぜひご参加ください。

開催日時	令和7年4月25日(金) 13:00~16:00
会場	ふじさんめっせ ※面談ブース 幅3m×奥行3.5m
参加費	44,000円(税込)

【参加対象者】 2026年3月卒業予定の大学生、高専生、短大生、専門学校生(以下大学等という)及び30歳未満の大学等の既卒者(参加対象の保護者も参加可)

※既卒者は原則未就職者、但し当地区外からの転職希望者は対象とする。

【募集企業数】 50社(先着順)

【申込期間】 令和6年12月23日(月)~令和7年1月17日(金)

【申込方法】 右記QRコードまたは下記URLにアクセスし、申込フォームよりお申込みください。

<https://www.fuji-cci.or.jp/2024/12/16/gd2026/>

【主催者】 富士地区合同企業ガイダンス実行委員会

【その他】 諸事情により、実施内容が変更となる可能性があります。



企業の参加申込はこちら

問合せ/富士商工会議所 振興課

TEL. 0545-52-0995

地元企業の魅力発見ツアー(企業見学会)参加企業募集

富士市の企業が持つ魅力を学生に知ってもらうため、地元企業を見学するツアーを開催いたします。社内の雰囲気など、自社の良さをアピールするためにぜひお申し込みください。

【開催日時】 令和7年3月11日(火)、12日(水)、13日(木)(3日間を予定) 9:30~16:00

※午前1社、午後2社の見学を予定。見学時間は各社1時間程度。

【会場】 富士商工会議所(集合・解散)

※ジャンボタクシーにて企業訪問

【参加費】 22,000円(税込)

【参加対象者】 大学生、高専生、短大生、専門学校生

【参加定員】 各日8名 参加無料(最少催行人員4名)

【募集企業数】 9社(各日3社・先着順)

【申込期間】 令和6年12月23日(月)~令和7年1月31日(金)

【申込方法】 右記QRコードまたは下記URLにアクセスし、申込フォームよりお申込みください。

<https://www.fuji-cci.or.jp/2024/12/16/jt2025-1/>

【主催者】 富士商工会議所

【その他】 諸事情により、実施内容が変更となる可能性があります。



企業の参加申込はこちら

問合せ/富士商工会議所 振興課

TEL. 0545-52-0995